

より多くの外国人留学生・就労者の受け入れと、よりよい就職、日本語教育や生活の

## サポート推進

日本は出生数が80万人と減少し、人口が日本の3分の2のドイツと同じ出生数です。働く人が不足する状態ですが、10年前から勤労世代人口は減り続けています。それを補うのは外国人労働者です。一方、日本は諸外国に比べ給与水準がどんどん低くなっています。働くには相当な日本語力を求める企業がほとんどです。漢字や敬語を身につけるのは大変な苦勞がいます。せっかく日本の大学で学んでも日本語能力が少したりず希望の職を得られなく、他の先進国で就職する学生が多くみられます。人口が日本の3分の1の4,000万人のカナダでは優秀な外国人をより多く受け入れようと、年間50万にも移民を受け入れようとしています。世界で人材獲得競争が起きています。そこでより多くの外国人留学生・就労者の受け入れと、よりよい就職、日本語教育や生活のためのサポート推進の提案をします。

### 1. 奨学金基金を設ける

もっとたくさんの優秀な学生が八王子等の大学に入学し、希望の会社で働き続けられるようサポートできる体制を作り、強化する必要があります。具体的には、奨学金基金を設け、卒業し働いてから奨学金を返す方法の奨学金制度で学べるようにすることです。八王子等の企業で5年間は働く条件で無料で学べるコースが理想です。これは、特にネパール人が東京入管の審査が非常に厳しく、希望の大学に入れぬ実情があります。

### 2. よりよい就職のサポート：

出身国では優秀な大学で学び英語も達者な若者が、日本語ができないこともあり日本に来て収入のために単純労働を行っている外国人が大勢います。これらの優秀な人たちのよい就職の斡旋などサポートをお願いします。特定技能で来日している人にもより良い仕事、よい待遇と環境をあたえられるようサポート推進をすることです。日本の大学・大学院で学んでも、他の先進国で就職することがないよう日本企業と大学の連携を強化してください。

### 3. 日本語教育体制の強化：

・働いている外国人でも、ひらがなも読めない人、話がちゃんとできない人、漢字が読めない人、が増えています。働いている人が廉価に、夕方、休日にしっかり学べる、オンラインと対面による日本語教育を推進する必要があります。

・国内の大学で学んでも日本語能力が少し日本人より低いだけで就職が難しくなっているためサポートをする。

### 4. 日本で家族で幸せな生活ができるようにするサポート：

日本にいる労働者だけでなく、家族、小中学生への日本語教育とともに学習支援をサポートすることです。親は働きに来て日本語がわからず、子供が日本の学校に行っても授業についていけない、学校からの連絡が分からない、それでいじめにあう、このような状況を改善する必要があります。出稼ぎに来ている人たちに、金稼ぎだけでなく家族としてみんなで幸せに長く生活できる社会にする必要があります。また言葉が不自由な人に医療や生活のいろいろなサポートが必要です。

これらをNPOに委託するならNPOに活動費を強力に支援する、また市としても組織を作り強化し予算をしっかりとって進めることを提言します。

---